

■ 蒲郡市地域公共交通計画の進捗管理について

1. 計画における進捗管理方法について

第 3 章 4. 計画の目標

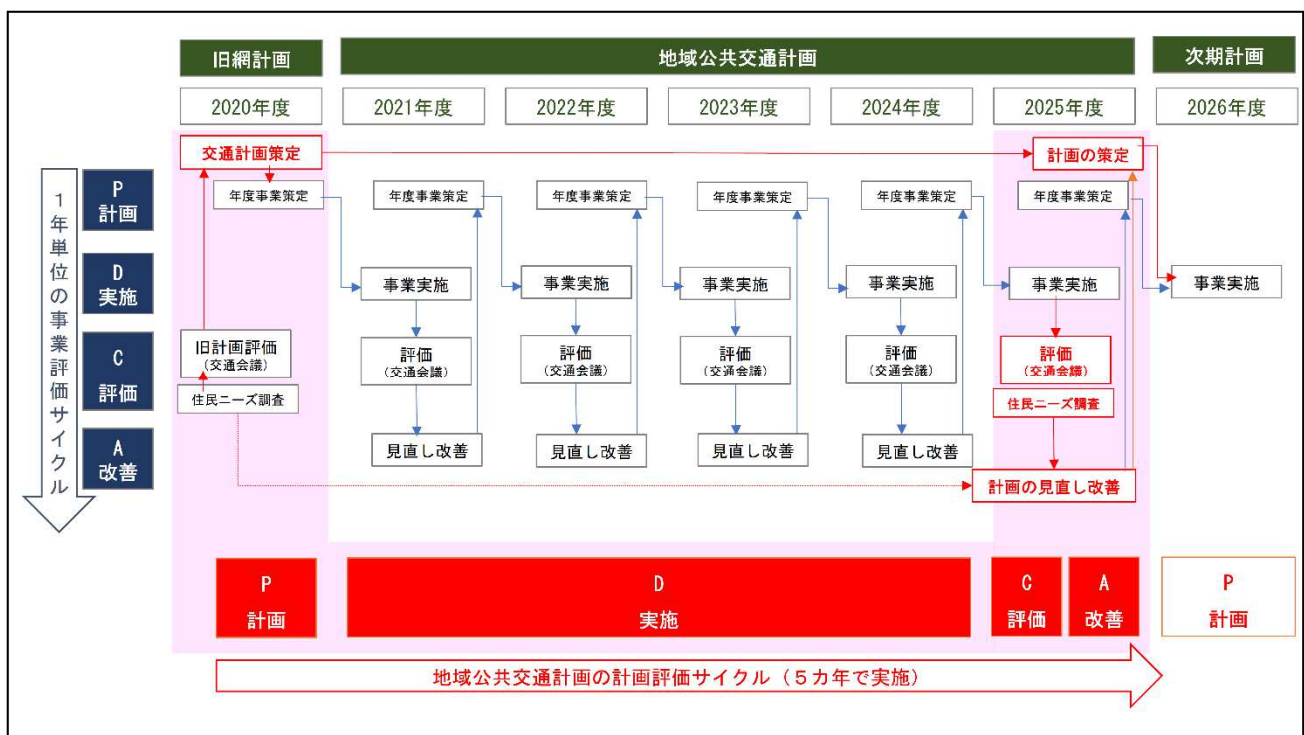
(4) PDCA・評価の進め方

計画期間で前述しているとおり、地域公共交通計画の進行管理については、計画期間の 5 カ年を通して、PDCA を行う。

計画の目標管理のため、毎年、鉄道・バスの利用者数をモニタリングすると共に、蒲郡市地域公共交通計画の評価を行うタイミングで、住民に対するアンケート調査を実施し、「公共交通の評価」・「鉄道や民間路線バスを維持するための税金投入とサービス水準のあり方」などについて確認し、住民ニーズを踏まえた公共交通ネットワーク網について評価する。

蒲郡市地域公共交通会議等を定期的開催することで、各事業年度の取組について関係者間で相互に共有し、適切な事業推進ができていないか評価・協議を行い、必要に応じて事業改善を行う。

図表 3-7 評価の進め方



## 5. 目標を達成するために行う事業及びその事業主体

目標を達成するために行う主な事業内容とその実施主体を下記のように設定する。

図表 3-9 事業リストと事業主体について

基本的な方針	計画の目標	主な事業内容	主な実施主体	
1. ネットワーク網の確保維持	1. ネットワーク網の構築	○名鉄西尾・蒲郡線の維持・利用促進事業	○蒲郡市（西尾市） ○鉄道事業者 ○名鉄西尾・蒲郡線対策協議会	
		○蒲郡市による民間路線バスの運行支援	○蒲郡市 ○交通事業者	
	2. 交通空白地対応	○支線バスの運行継続（形原、東部、西部、三谷、大塚） ○支線バスの事業改善検討（支線バスの拡大、利用促進、1日乗車券等） ○高齢者タクシー運賃助成事業 ○福祉移動支援事業（福祉タクシー料金助成、福祉有償運送事業）	○地区公共交通協議会・蒲郡市 ○交通事業者	
			○蒲郡市 ○地区公共交通協議会 ○交通事業者	
			○蒲郡市 ○交通事業者	
			○蒲郡市 ○社会福祉協議会 ○交通事業者	
	3. 住民・来訪者にとって利用しやすいサービス提供の推進	○利用してもらうための情報発信対応 ○観光ビジョンに基づく二次交通の拡充、観光 MaaS 等の事業化検討 ○レンタサイクル事業 ○利用環境改善事業（ベンチ等の設置ほか）	○蒲郡市 ○交通事業者 ○関係事業者	
			○蒲郡市 ○観光関連事業者	
			○蒲郡市 （名鉄西尾・蒲郡線活性化協議会）	
			○蒲郡市 ○交通事業者	
	2. 関係者間の連携強化	1. 関係者間の連携強化	○地域公共交通会議等（地区協議会等）の開催・協議	○蒲郡市
		2. 適切な事業管理運営	○地域公共交通会議等による事業評価の実施	○蒲郡市
3. さらなる利用拡大（利用促進活動/創意工夫）		○移動手段の総動員化検討	○蒲郡市	
		○市民まるごと赤い電車応援団による利用促進事業	○蒲郡市 ○地域住民	
		○民間路線バス等の利用促進事業	○蒲郡市 ○交通事業者	
		○支線バスの利用促進事業	○地区公共交通協議会・蒲郡市 ○地域住民	
○地域公共交通会議等を活用した新たな交通事業の展開検討（MaaS/CASE 等）	○蒲郡市			

計画を達成するために行う事業（蒲郡市地域公共交通計画から抜粋）

計画を達成するために行う事業	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
<b>【ネットワーク網の構築】</b>					
名鉄西尾・蒲郡線の維持・利用促進事業	実施	→	→	→	→
蒲郡市による民間路線バスの運行支援	実施	→	→	→	→
<b>【交通空白地対応】</b>					
支線バスの運行継続（形原、東部、西部、三谷、大塚）	実施	→	→	→	→
支線バスの事業改善の検討（支線バスの拡大、利用促進、1日乗車券の導入）	検討	導入	→	→	→
高齢者タクシー運賃助成事業	実施	→	→	→	→
福祉移動支援事業（福祉タクシー料金助成、福祉有償運送事業）	継続実施	→	→	→	→
<b>【住民・来訪者にとっての利用しやすいサービス提供の推進】</b>					
利用してもらうための情報発信対応	実施	→	→	→	→
観光ビジョンに基づく観光客のための二次交通の拡充	検討	→	企画	→	→
レンタサイクル事業	実施	→	→	→	→
利用環境改善事業	継続実施	→	→	→	→
<b>【関係者間の連携強化】</b>					
地域公共交通会議等の開催・協議	実施	→	→	→	→
<b>【適切な事業管理運営】</b>					
地域公共交通会議等による事業評価の実施	実施	→	→	→	→
<b>【さらなる利用拡大（利用促進活動/創意工夫）】</b>					
移動手段の総動員化検討	検討	→	連携	→	→
利用促進活動の実施	実施	→	→	→	→
地域公共交通会議等を活用した新たな交通事業の展開検討（MaaS/CASE等）	検討	→	企画	→	→

2022 年度（令和 4 年度）の事業評価結果

事業	R4 年度 取組	評価	実施概要・評価内容
ネットワーク網の構築			
	名鉄西尾・蒲郡線の維持・利用促進事業	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名鉄及び西尾市との連携合意書に基づき、貸切列車等の新たな利用促進の取組を連携して実施。</li> <li>・対元年度比 11%減の回復レベルではあるが、対前年度比 6%増加。</li> </ul>
	蒲郡市による民間路線バスの運行支援	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業存続を目的に市より経費支援を実施。</li> <li>・コロナ禍の減便状況の中で、対前年度比 4%増加。</li> </ul>
交通空白地対応			
	支線バスの運行継続（形原、東部、西部、三谷、大塚）	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通会議事業費を投入し運行支援を実施。地区協議会が開催され利用促進等実施。</li> <li>・三谷地区、大塚地区支線バスは R5 年度以降の運行継続を協議。</li> <li>・利用者数は地区別の差はあるが増加傾向。</li> </ul>
	支線バスの事業改善の検討（支線バスの拡大、利用促進、1日乗車券の導入）	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形原地区で R4 年 4 月から週 4 日に運行日拡大。東部・西部・三谷・大塚地区での週 4 日運行について協議、決定。</li> <li>・西部地区支線バスについて、交通空白地の柏原地区への延伸協議、決定。</li> <li>・蒲郡北部地区において、乗継タクシー事業の実証実験を開始。</li> <li>・上記の事業改善対策を実施。</li> </ul>
	高齢者タクシー運賃助成事業	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者外出支援を目的に市より経費支援を行い継続実施。</li> <li>・利用者数、利用枚数は対前年度比 1%、市補助金額は 3%増加。利用拡大進む。</li> </ul>
	福祉移動支援事業（福祉タクシー料金助成、福祉有償運送事業）	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉支援を目的に市より経費支援を行い事業実施（福祉部局）。</li> </ul>
【住民・来訪者にとっての利用しやすいサービス提供の推進】			
	利用してもらうための情報発信対応	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通会議事業費を用いて蒲郡市公共交通マップを更新。</li> <li>・GTFS の更新、各地区公民館だより等での情報発信等、各者にて事業実施。</li> </ul>
	観光ビジョンに基づく観光客のための二次交通の拡充	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R3 年度にデマンドの実証運行がされる。R4 年度の事業継続はないが、蒲郡市観光協会での検討は継続中。</li> <li>・R5 年度は市交通担当・観光担当等の関係者間で拡充に向けた検討を実施する予定。</li> </ul>

	レンタサイクル事業	○	・蒲郡市観光協会が蒲郡駅にて、名鉄西尾・蒲郡線活性化協議会が形原駅、西浦駅にて事業実施。
	利用環境改善事業	○	・大塚地区において、地域の取組みとしてベンチを設置（蒲郡東部病院）。 ・蒲郡市にて地区要望・乗降の多い支線バス停留所にベンチを設置対応。
<b>【関係者間の連携強化】</b>			
	地域公共交通会議等の開催・協議	○	・適時会議を開催し、協議実施。支線バスのモニタリング、停留所位置の見直し、利用促進策等協議される。
<b>【適切な事業管理運営】</b>			
	地域公共交通会議等による事業評価の実施	○	・年度当初の公共交通会議において、計画に基づく事業進捗できているか評価を実施。
<b>【さらなる利用拡大（利用促進活動/創意工夫）】</b>			
	移動手段の総動員化検討	×	・R4 年度は市と関係事業先との間での総動員化に関する検討について進展なし。 ・R5 年度は、市にて「対象の洗い出し」から着手する予定。
	利用促進活動の実施	○	・名鉄西尾・蒲郡線：ウォーキングイベント等の実施。市民まるごと赤い電車応援団をはじめ、にしがま線応援団（西尾市）や愛知こどもの国等と連携して利用促進活動を実施。 ・路線バス：東三河小学生 50 円バス事業の継続実施。イベントでの車両展示・体験乗車等 PR の実施。 ・支線バス：ぬりえ大会、利用者数達成イベント、公民館だよりにて周年特集記事やルート変更周知等の PR を実施。 ・上記の利用促進活動を実施。
	地域公共交通会議等を活用した新たな交通事業の展開検討（MaaS/CASE 等）	○	・「名鉄電車&名鉄バス 蒲郡シーサイドフリーパス」事業の実施（CentX）。

※「実施概要・評価内容」欄は、「評価（○△×）」の設定根拠として「R4 年度の主な実施事項」を記載。評価は、該当事業が実施できているかを判断基準として設定している。

※利用者数等の数量で効果分析できる場合は、数量の変動状況を加味して評価している。

※事業が実施できていない、評価が「△×」の項目については、「R5 年度の取り組み方針」を記載している。